

平成26年度 魚沼市特別活動部 活動報告

部長 梅田 勝

1 研究主題

Q U調査を活用して親和的な学級集団づくりへの挑戦

2 研究の概要

当市では今年度から全小・中学校で3年間、「温かい学級づくり支援事業」を立ち上げ、主に「学力向上」と「いじめ・不登校の減少」を目指す取組が始まった。特別活動部員は各校の当支援事業の中心者となっている。具体的には、年3回実施されるQ U調査を基に学級集団の実態を分析し、具体的に指導に活かせるように全職員で取り組んでいる。また、今年度末までに2年次に向けて「温かい学級づくり自校化プラン」を作成する。

本年度は、市教育委員会の事業の流れに沿って下記のように計画して取り組んだ。

(1) 「温かい学級づくり支援事業」に向けて（全員研修会）

日 時 4月16日（水）

内 容 研修会 指導者 早稲田大学 教授 河村茂雄 様

(2) 「学級ソーシャルスキル研修会」（全員研修会）

日 時 8月 8日（金）

内 容 研修会 指導者 都留文科大学特任教授 品田 笑子 様

(3) 特別活動部 夏季研修会

日 時 8月21日（木）

内 容 実践発表、実践レポートを基に情報交換会

(4) 「互いに認め合い高め合う学級づくりと授業づくり」（全員研修会）

日 時 12月 1日（月）

内 容 研修会 指導者 高知大学教育学部附属教育実践総合センター
准教授 鹿嶋 真弓 様

3 研究の実際

(1) 市内の全小中学校で「温かい学級づくり支援事業」が始まった。今年度は初年度であり市教育委員会主導で上記の全員研修が位置づけられた。特に第1回目の全員研修では、河村教授による本プロジェクトの本質に触れ、Q U調査を手段として学力向上、いじめや不登校の減少を目的とする本事業を参加者が理解できた研修会となった。その後、第1回目Q U調査を実施した結果についての分析の仕方、今後の指導の活かし方について、全員研修と校内研修をうまく機能させながら実り多き1年となった。

(2) 特活部員は、各校の当支援事業担当者となる人が多いため、夏季研修会では、先進的に取り組んできた入広瀬小学校の実践を学んだ。特に、年間を通して「温かい学級づくり全体計画」が出来ていて今年度末までに各校が作成する上でとても参考になった。その後、各自が持ち寄ってきた特別活動実践レポートを交換し合いながら互いに学び合った。

4 成果と課題

当市が3年間かけて取り組む当支援事業は、Q U調査という手段を使って、学級集団の実態を見極めると同時に一人一人に寄り添って働きかけていくものである。その成果として学力向上や不登校減少を目指す。そのことを全職員が共通理解してやれるかどうかは課題でもある。